

～ガンマカメラ検査装置のご案内～

平成24年12月18日（火）よりシーメンス製のガンマカメラ検査装置を導入します。



今回導入される核医学（R I）検査装置は、当院保有の従来の装置より機能的に優れ、かつ患者さんに優しいコンセプトの装置です。

【全身検査時間の短縮】

全身（骨・ガリウム）検査で45分程度を要していましたが、30分程度に短縮が可能となります。また、動かずに寝ていただく時間が減ることで、患者さんの負担軽減につながります。

【心電同期を用いた心臓検査が可能】

心電図を計測しながら検査を行うことで、心臓の動き（壁運動）に対する検査が可能となり、心臓拍動のリズムのずれを診断できます。

【頭部診断の精度向上】

脳血流 SPECT という脳の血流を調べる検査を行うことにより、脳梗塞、認知症、てんかん、脳腫瘍などの脳内血流の異常を把握することができます。

また、認知症においては解析ソフトを使用することにより詳細な診断が可能となります。

【患者さんに優しい】

検査を行うには、検査用ベッドに寝ていただく必要がありますが、今回導入の装置は寝台幅が広く、低くまで下降するため、安心して検査を受けていただくことができます。